

韓・物流企業と業務提携

ダイワコーポ 日本向け事業サポート



ダイワコーポレーション（本社・東京、曾根和光社長）は昨年12月20日、韓国の総合物流企業コロセウムコーポレーション（本社・大田、曾根和光社長）と業務提携を締結した。海外物流企業との提携は初。コロセウムコーポレーションは、新規顧客への共同営業も行う。

コロセウムは2019年に設立された物流企業。24年12月期の売上高は389億700万韓元（約1億7000万円）。海外物流企業との業務提携は初（右が曾根社長、左はコロセウムのパク・ジンス社長）。

40億円）。韓国、米国や東南アジアなどに50拠点以上展開し、昨年日本人を設立した。コロセウムはAIを活用したクラウド型WMS「コロAI」を独自に開発。同WMSを基盤に、自動化設備・設備やラストワンマイル配送など、連携させながら事業を展開している。新技術を積極的に物流に導入する物流テックの一社で、少量多頻度や在庫回転の速い商品の効率的に扱うこ

とできる特長を持つ。業務提携を機に、ダイワコーポは自社拠点にコロセウムのWMSを導入し、日本国内の業務を手掛ける計画。日本で人気の高い韓国の化粧品関連物流モデルを確立し、

や、Kポップのライブグッズなどを扱い、庫内業務や配送手配といった一連の業務をサポートする。新規顧客の開拓に向けた共同営業も行う。

ダイワコーポが海外物流企業と共同で事業を推進するのは初。曾根社長は「先進的な物流ノウハウと当社の基盤を統合し、サプライチェーンの最適化を推進する。相互の強みを生かした効率的な物流モデルを確立し、

持続可能な国際物流の実現と事業成長を加速させたい」としている。

（小林 孝博）